

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度		根拠法令・例規等	
事業開始年度		昭和46年度		老人福祉法、岡山県老人福祉費（在宅）補助金交付要綱	
総合計画	大項目 基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	問 担当課（室）	介護福祉課
	中項目 基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目 施策	04	高齢者福祉		
事務事業名		10	老人クラブ助成事業	合 職・氏名	高齢者福祉係長 森 優
				先 電 話	0869-64-1827
		このシート作成に要した時間			1.5 時間

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	老人クラブ会員
目 的 (何のために)	地域の高齢者が生活を豊かにする楽しい活動や地域を豊かにする社会活動を目的に組織している老人クラブに対し、その育成・支援を行う。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	高齢者が日常的に健康づくりに取り組んだり、社会活動に積極的に参加できるようにする。

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	老人クラブ助成事業		
	老人クラブ助成事業	老人クラブの活動、事業に対し補助金を交付する。		
	高齢者健康づくり補助事業	料理教室、水泳教室、グラウンドゴルフなどで高齢者が集まり、閉じこもり防止、健康づくりを推進している。		

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
決算額	事業費	千円	5,489	5,491	5,433
	必要人員	人	0.43人	0.27人	0.29人
	必要人員	人	3,455	1,953	1,981
財源	事業費	千円	8,944	7,444	7,414
	国・県支出金	千円	3,658	3,659	
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
その他( )					
一般財源			5,286	3,785	7,414
受益者負担比率		%	-	-	-

結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
結果指標	結果指標量	説明	加入会員の推移		
	対前年比	%	5,679	5,658	5,564
	活動コスト	円	-	99.6%	98.3%
	単当たりコスト	円	8,944,000	7,444,000	7,414,000
			1,575	1,316	1,332

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果		(平成24年度事業)				
成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値	
老人クラブ加入率	目標値(A)	39	40	38	35	
	実績値(B)	38	37	35	到達目標値	
	達成率(B/A)	97.44%	92.50%	92.11%	35	
成果指標設定の考え方・式や説明						
会員数 / 60歳以上人口 × 100						

事務事業の評価		該当する項目を から へ へ 「コピー」して「貼り付け」してください		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない事業の内容が一部の受益者に偏っている対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である事業開始当初の目的から変化してきている事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている厳しい財政状況であるが、実施する必要がある		妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い		C
	効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地があるコスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい受益者負担率は適正である受益者負担率を見直す余地があるサービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
有効性の評価	目的達成度	成果指標の設定は適切である成果指標の到達目標値は達成できそうである成果指標達成率は前年度と比較して向上している成果指標達成率は80%未満となっている現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい事業について積極的にHPや広報等で情報提供している事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	市民参画度			C

進行年度（H25年度）の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	各地区とも会員の減少、高齢化の傾向にある。各地区老人クラブの事務局はほぼ自主運営ができていますが、一部できていないところがある。市老連の事務局も自主運営を促しながら、支援を続ける。

総合評価	
老人クラブは、市内最大の組織であり、高齢者の健康づくり、社会奉仕活動を通じて、明るく活力ある高齢者社会を形成するため、今後も事業を継続していく必要がある。しかし、会員数が減少している中で、老人クラブの活性化と自主運営について検討するとともに、より効果的・効率的な事業展開を行う必要がある。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	C

平成26年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	会員拡大、特に若手会員の加入促進対策を図り、自主運営を行う。

事業の目的やその数値目標に留意しながら

Action